

学校関係者評価報告書（令和4年度）

令和4年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和4年11月25日（金）

学校関係者評価委員：企業委員2名、卒業生委員2名、地域住民委員1名（計5名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
<p>(1)教育理念・目標 教育理念・育成人材像はしっかり定められており、引き続き推進していくことを期待する。</p>	<p>企業が求める人材像も、入学生のニーズも、時代とともに変化している。今後も、その時代の変化・ニーズに対応したカリキュラムの見直しを実践していく。</p>
<p>(2)学校運営 全体的によく取り組んでおり、問題はない。</p>	<p>学校法人向けパッケージシステムを令和3年度から導入している。今後もこのパッケージシステムを活用して、教務・広報・事務でデータを共有して業務の効率化を図っていく。</p>
<p>(3)教育活動 カリキュラム検討委員会の「時代に沿った人材育成カリキュラム」の検討は評価でき、その検討結果を踏まえた教育カリキュラムの見直しを毎年行っている。 学生の評価も踏まえ、教育効果を更に高めてほしい。</p>	<p>コロナ禍が続く中、学生の学びを止めないために、今後も感染対策の徹底を継続させていく。 今後は、卒業クラスの保護者にも「学校満足度調査」を実施して、課題改善に取り組んでいく。</p>
<p>(4)学修成果 就職実績、資格取得実績、学生の満足度向上策については評価できる。更なる高みを目指してほしい。</p>	<p>情報処理技術者試験の「CBT(Computer Based Testing)化・通年試験化」によるカリキュラムへの影響は大きいと考えるが、引き続き、資格取得実績に裏付けされた「技術者教育」で常に県内一番手校であり続けていく。 今後は、地域の感染状況を踏まえつつ、可能な範囲で校外レクを企画・実施したり、対面による蒼鶉祭(学園祭)開催を検討するなど、更なる学生の学校満足度向上に努めていく。</p>

<p>(5) 学生支援</p> <p>高等教育の修学支援新制度の対象校として認定されており、かつ、独自の学費支援制度も含めて、十分な学生支援が行われていると評価できる。</p> <p>卒業生の活動・評価も必要と考える。</p>	<p>卒業生の状況把握や、就職先企業の情報収集・評価が十分に機能しているとはいえないので、同窓会の活用で卒業生の情報を収集・蓄積し評価していくよう努める。</p> <p>卒業生に対するアンケート収集(学校で学んだことは今の仕事に役立っているかなど)を引き続き検討していく。</p>
<p>(6) 教育環境</p> <p>教育環境については、教育上の必要性に十分対応できるよう計画的に整備されており、適切に運営されている。</p>	<p>設備・施設については、優先順位などを考慮しながら、段階的に改修工事等の検討を進めていく。</p>
<p>(7) 学生の受入れ募集</p> <p>きちんと取り組んでおり、特に問題はない。</p>	<p>入学希望者に 52 年の伝統と資格取得にも就職にも強い本校の魅力を最大限に伝えて、安定した入学者数の確保に努め、他の追随を許さない県内一番手校を維持し続けていく。</p> <p>女子学生を確保する工夫が、より一層求められる。</p>
<p>(8) 財務</p> <p>健全な財務状態が維持されており、特に問題はない。</p>	<p>引き続き、経費節減に努めるとともに、教育の質向上に向けた学校運営を行っていく。</p>
<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>きちんと取り組んでおり、特に問題はない。</p>	<p>今後も倫理観に裏打ちされた Quality First で誠心誠意、在校生や在校生保護者、高校生や高等学校、関係企業様へのサービス提供を実践していく。</p>
<p>(10) 社会貢献・地域貢献</p> <p>きちんと取り組んでおり、特に問題はない。</p>	<p>GIGA スクール構想や DX の進展に伴い高専連携や産学連携がこれまで以上に拡大・深化が予想されるので、「情報」分野でしっかり支援していく。</p> <p>教育関係者への情報教育がコロナ禍のため高校教職員のみが対象となっているが、コロナが落ち着いたら近隣の小・中学校とも情報教育で連携していく。</p>

以上